

第50回日本神経学会総会 ランチョンセミナー 17

日時 平成21年5月21日(木) 12:00—13:00

場所 仙台国際センター 第7会場 (白樺2)

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL : 022-265-2211

座長 山本 續子 先生 藤田保健衛生大学 名誉教授
並木病院 院長



演 題

**非アルツハイマー型認知症の診断：
アルツハイマー病診断は、除外診断でなされるが・・・**

演 者

朝田 隆 先生 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 病態制御医学教授

共 催

第50回日本神経学会総会

日本脳神経核医学研究会

富士フイルムRIファーマ株式会社

第50回日本神経学会総会 ランチョンセミナー 17

共 催：第50回日本神経学会総会
日本脳神経核医学研究会
富士フィルムRIファーマ株式会社
開催日時：平成21年5月21日(木) 12:00-13:00
開催場所：仙台国際センター 第7会場(白樺2)
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL:022-265-2211

座 長：山本 纘子先生 藤田保険衛生大学 名誉教授、並木病院 院長

演 者：朝田 隆先生 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 病態制御医学教授

非アルツハイマー型認知症の診断： アルツハイマー病診断は、 除外診断でなされるが…

アルツハイマー病に前頭側頭葉変性症、レビー小体型認知症、そして脳血管性認知症を合わせて4大認知症という言い方がある。アルツハイマー病の診断は本来、残りの3疾患を含む他の認知症性疾患の除外によって成立する。

臨床症候的には、ピック病など前頭側頭葉変性症 (FTLD) は、特異な行動異常・性格変化を特徴とする。レビー小体型認知症はADとパーキンソン病の特徴を併せ持つとともに系統的な自律神経障害を伴う疾患である。本セミナーでは、この両者、とくにFTLDに注目する。この疾患群は臨床分類と病理学的分類が混沌としていてわかり難いとされてきた。しかし近年、整理が進みつつある重要領域である。これらについて症候的な特徴を把握していただけるように動画や音声を用いて典型的と思われる症例を提示する。

これらの疾患群の臨床診断に際しては、特徴的な症候に注目することが出発点になる。しかし決め手となるのは、むしろ脳画像、それもSPECTなどの機能画像かと思われる。そこで提示例については、そのMRIや画像所見なども示すことで、これらが診断の助けとして有用であることをご理解いただく。

About JCNN 日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F 日本コンベンションサービス株式会社内
Tel:03-3508-1214 Fax:03-3508-1302 E-mail:infojcnn@convention.co.jp

